各位

2026年11月12日

会 社 名　東京ラヂエーター製造株式会社
代表者名　代表取締役社長　木村　裕哲
(コード番号 7235 東証)
問合せ先　企画管理本部本部長　佐藤　秀昭
(TEL.0466-87-1231)

通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年5月14日に公表しました2027年3月期の連結業績予想を修正するとともに、中間配当及び期末配当予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

（１）2027年3月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	35,500	2,450	2,600	1,800	189.70
今回発表予想（B）	38,500	2,900	2,910	2,050	214.71
増減額（B－A）	3,000	450	310	250	
増減率（%）	8.5%	18.4%	11.9%	13.9%	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	35,382	2,358	2,541	2,038	214.85

（２）業績予想の修正の理由

第２四半期累計期間におきましては、日本では自動車（トラック）・建設機械向けの需要が堅調に推移し、アジアでは主要顧客の生産増によりタイ・インドネシアともに増収となりました。利益面では、原材料価格の高騰や中東情勢に伴うコスト増があったものの、増収効果や価格転嫁に加え、合理化などの原価低減活動によりこれを吸収し、売上高・利益ともに前年同期を上回りました。

下期につきましては、中国では国内需要の低迷により減収・減益を見込むものの、日本・アジアでは引き続き増収・増益を見込んでおります。部材費の高騰影響や中東情勢などによる先行きの不透明感はあるものの、上期実績と足元の事業環境を踏まえ、2026 年 5 月 14 日に公表した 2027 年 3 月期の通期連結業績予想を上方修正いたします。

２．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

（１）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026 年 5 月 14 日)	前期実績 (2026 年 3 月期中間)
基準日	2026 年 9 月 30 日	同左	2025 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	42 円 00 銭	38 円 00 銭	29 円 00 銭
配当金の総額	403 百万円	―	276 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 7 日	―	2025 年 12 月 8 日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

（２）期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想	38 円 00 銭	39 円 00 銭	77 円 00 銭
今回修正予想	–	45 円 00 銭	87 円 00 銭
当期実績	42 円 00 銭	–	–
前期実績 （2026 年 3 月期）	29 円 00 銭	36 円 00 銭	65 円 00 銭

（３）剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想修正の理由

当社は、株主還元につきまして、配当性向 40%を目安とすることを基本方針としております。

通期連結業績予想の修正を踏まえ、2027 年 3 月期の中間配当及び期末配当予想を、前回予想から増額することといたしました。

これにより、2027 年 3 月期の年間配当は 1 株当たり 87 円 00 銭となり、前期実績に比べて 22 円の増配となる見込みです。

※上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上